

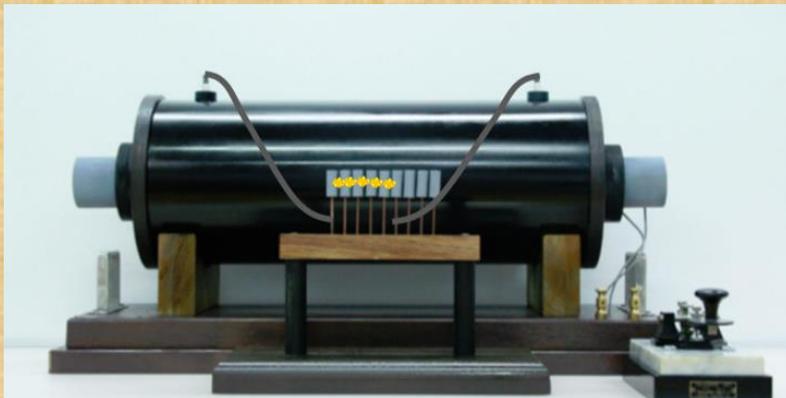
三六式無線機の開発



日本海海戦

日露戦争の前年、明治36年（1903年）ようやく、実用に供する無線機が横須賀造船所で完成します。
明治36年制式化されたことにより三六式と名付けられました。

日本海海戦にギリギリ間に合い
「海戦の勝利」の影の立役者です。

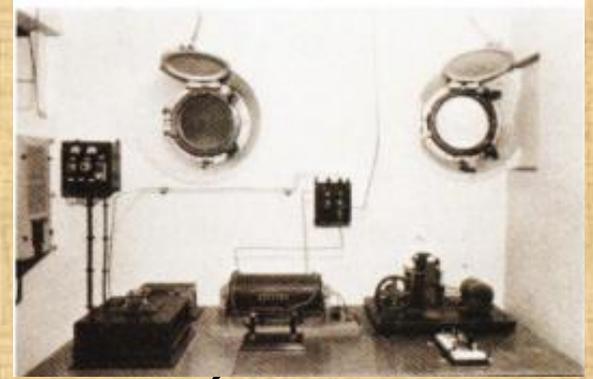


三六式無線機

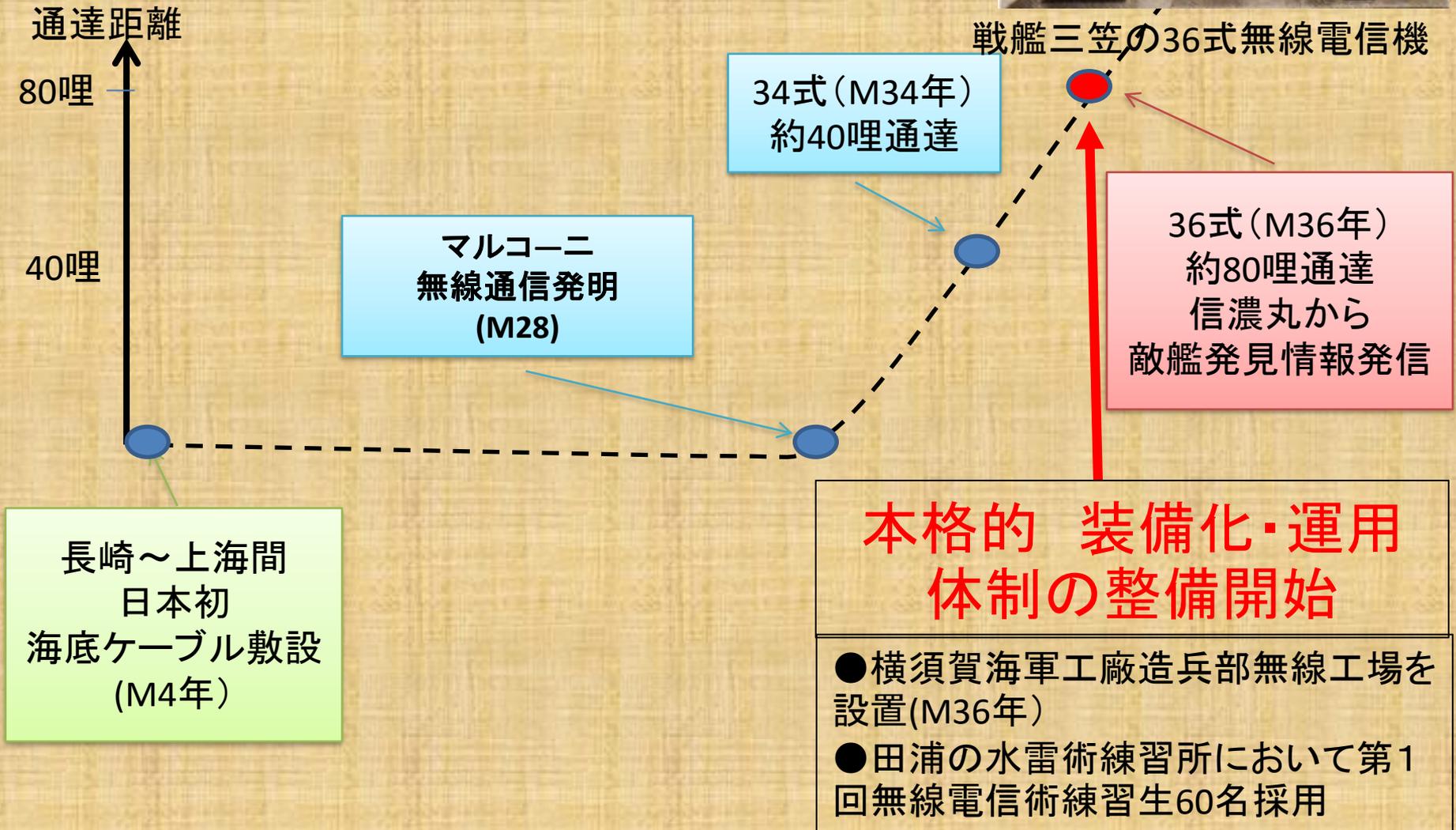


現在の携帯電話
のルーツでもあります。

「36式無線電信機」 開発の経過



戦艦三笠の36式無線電信機



ペリーが初めて日本に電信機を持って きました。当時まだ無線はありませんで した、有線です。

ペリーは、翌年に、2台の電信機(でんしんき)を、幕府と朝廷に献上しました。
その意味が分かる人は、幕府にはほとんどいませんでした。



ペリーが献上した電信機

通信博物館蔵



ペリーが日本で電信実験 横浜



ペリー提督



石原藤夫著「国際通信の日本史」東海大学出版会 1999年

ペリー提督から献上された電信機による1600mの通信実験

ペリーが来航した頃、すでに
世界に有線の電信網は
拡大していました。



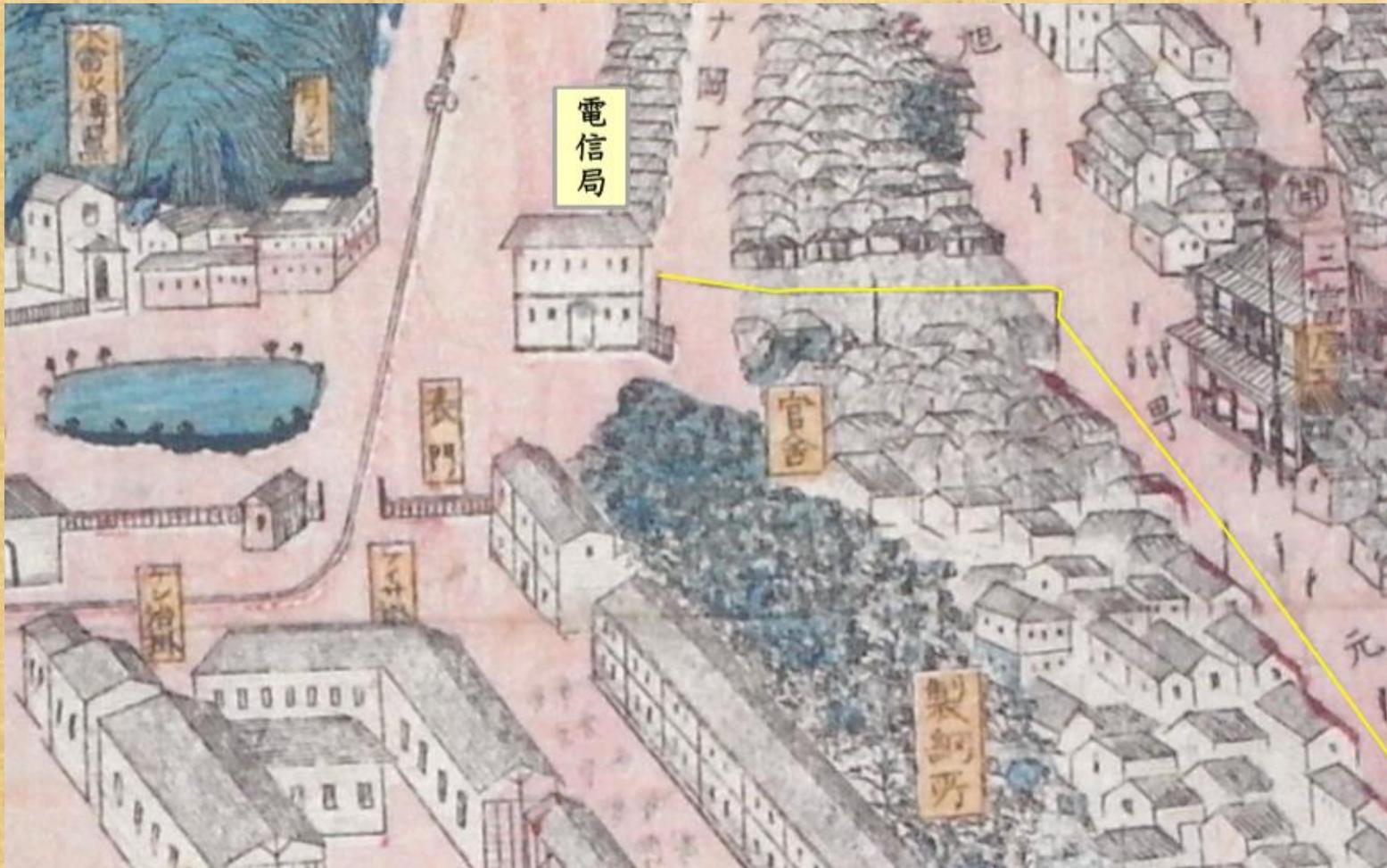
当時の世界の電信網

—— 陸上の通信線
(電信柱)

—— 海底ケーブル

明治11年には、当時最先端工業都市であった横須賀に電信線が引かれます。

横須賀製鉄所内の電信局



無線機の誕生には帝政ロシアから侵略の脅威がありました。



ロシアの「南下政策」



ロシアには冬季に凍らない港がありませんでした

1895年(明治28年)英国で
マルコニーが世界で初めて
無線通信の実験に成功します。



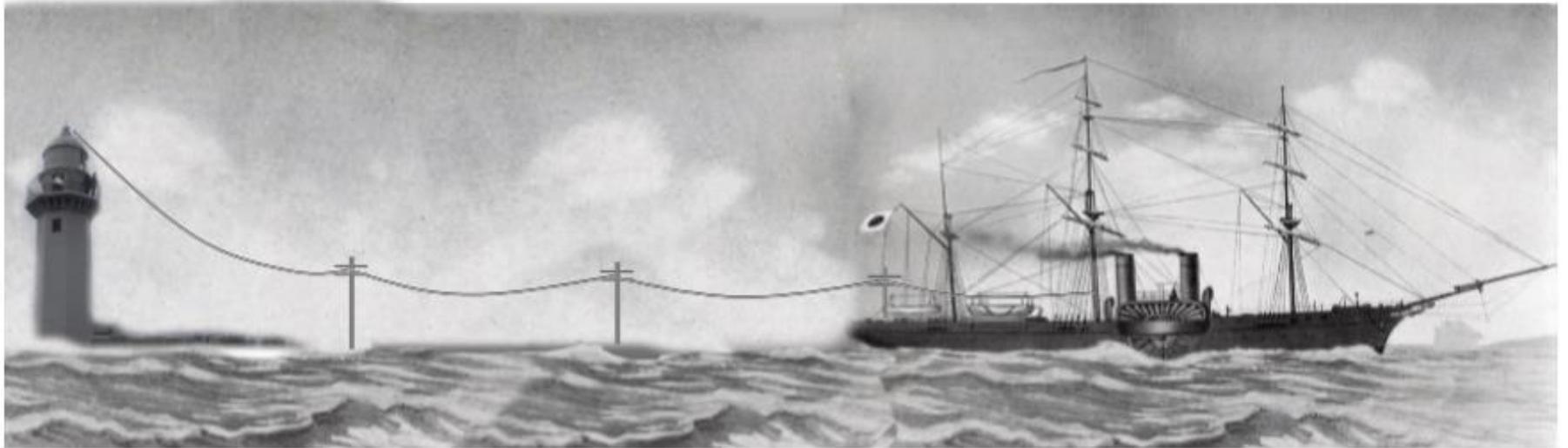
G. マルコーニ
Guglielmo Marconi

最初は数100mでしたが
改良を重ねて数kmになっていきました。



世界をつないでいた電信も使えないのは船舶でした。線を引っ張っていても船は動きません。

まさに、固定通信から移動体通信のための無線が必要だったわけです



これでは船は動かさませんね

無線機の重要性に気がつき。 1900年(明治33年)無線機の開発 が横須賀造船所で開始されます。



松代松之助通信技師



木村駿吉教授

1900年(明治33年) 松代・木村 両氏は横須賀に集結する

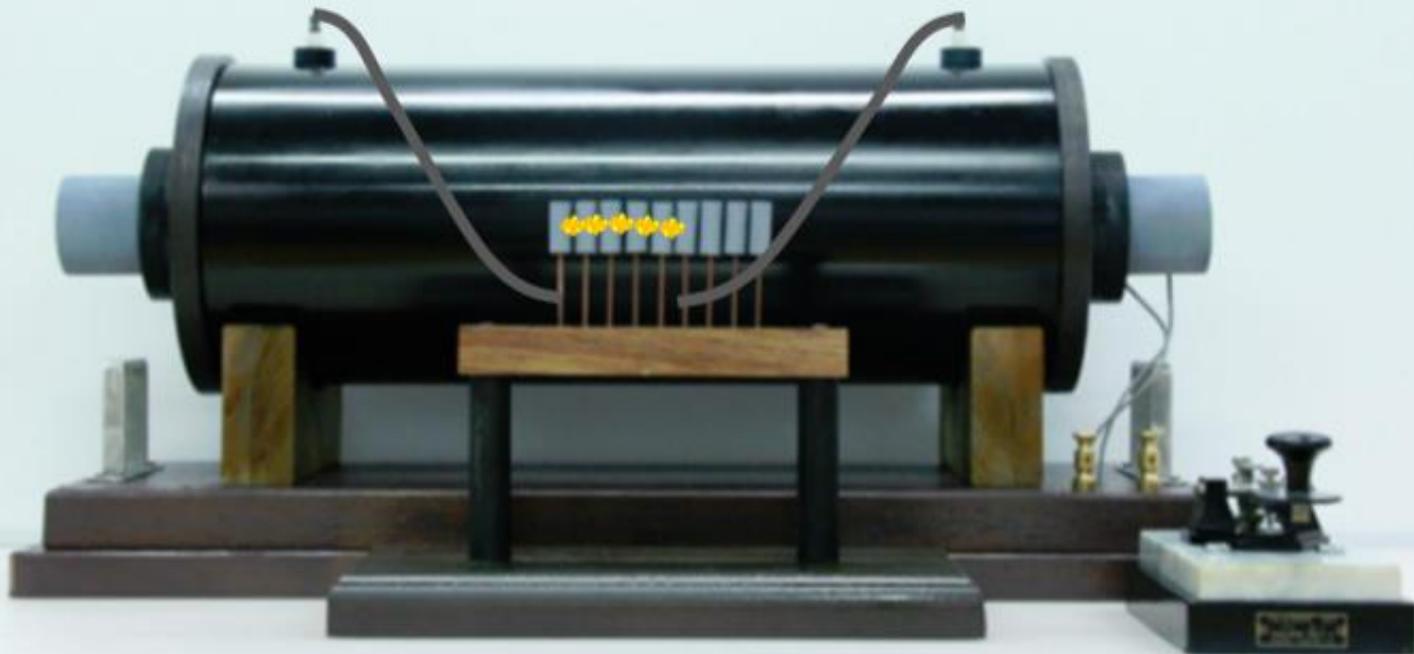


横須賀海軍工廠



横須賀造船所(製鉄所)

日露戦争の前年、明治36年（1903年）
ようやく、実用に供する無線機が横須賀造
船所で完成します。明治36年制式化された
ことにより36式と名付けられました。



完成した「36式無線機」を使いこなすための通信要員への猛特訓が横須賀で開始されます。



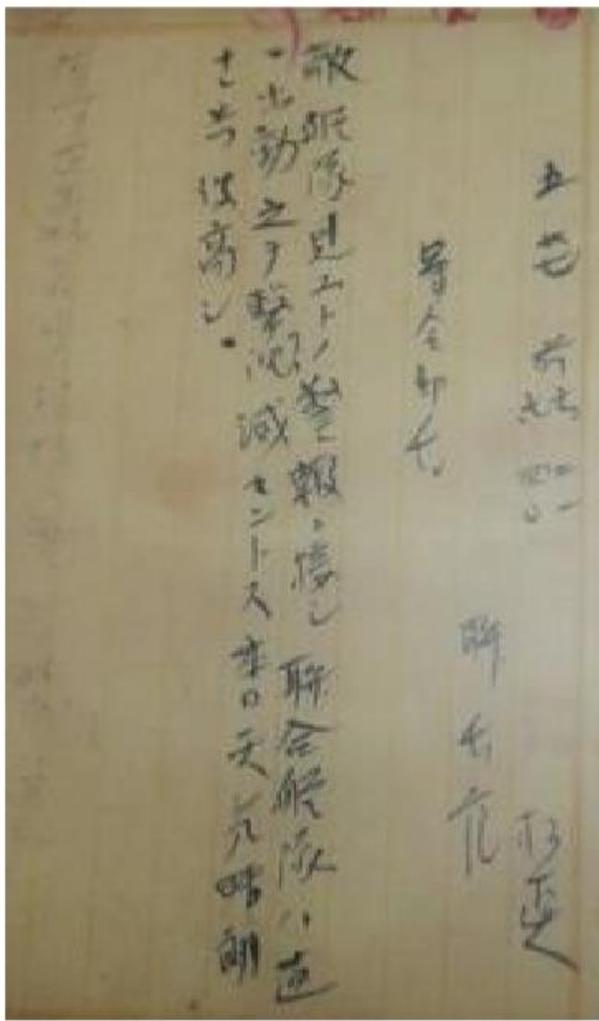
通信術の特訓

無線機を搭載して
通信術の特訓をする三笠
(横須賀夏島沖)



東郷艦隊は直ちに出击。

五月二十七日 午前六時二十一分



本日天気晴朗なれども波高し

1905年5月27日
対馬沖においてロシアバルチック
艦隊を打ち破ります。



帝政ロシア・バルチック艦隊
旗艦クニャージ・スヴォーロフ

日本・聯合艦隊
旗艦三笠

華々しい艦隊決戦の勝利の影に36式無線機による「情報戦」の勝利を忘れてはなりません。記念艦三笠には、当時の36式無線機が展示されています。

記念艦三笠
三笠公園
横須賀市稲岡町



無線通信室
記念艦三笠
中甲板後方

36式無線機の作動原理、その後の技術等に

ついては

「⑨戦後の復興を支えた技術と人材」

でご覧頂けます。